

県 CO2 排出量 2021 万トンで 16 位 1 人あたりは 10 位

環境省が三月に発表した「部門別二酸化炭素(CO2)排出量の現況推計」によると、三重県の排出量は二〇二〇年度が二千二十一万トンで、都道府県別で十六位の多さだった。産業部門が61%を占め、全国平均の43%を二割近く上回る。人口一人あたりの排出量は、十位の一一・四トン。

排出量の全国最多は東京(六千九十九万トン)で、愛知(六千六十四万トン)や千葉(五千九百六十万トン)など、人口の多い県が続く。一人あたりでは大分が最多で、静岡、岡山、山口、広島と続くが、これらの県の共通点は、排出量が多いとされる鉄鋼業や石油石炭製品を含む化学工業、機械器具製造業が盛んなことだ。三重は、輸送用機械をはじめとする機械器具製造業や、化学工業の割合が高いことが影響している。

国内のCO2排出量は、電力などの低炭素化や企業の省エネなどを背景に減少傾向にある。県内の産業部門の排出量も一三年度から約一割減少した。ただ、県が三月に改定した「県地球温暖化対策総合計画」は、三〇年度に産業部門で42%削減する目標を掲げている。

脱炭素経営は、将来的な排出規制強化への対応に加え、事業活動の見直しによる生産性の向上や競争力強化、新たなビジネスチャンスの獲得につながる可能性がある。地域を支える産業の持続的発展に向け、一層の削減努力が期待される。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子)

都道府県別の人口1人あたりのCO₂排出量

順位	産業部門の排出量の順位	都道府県	人口1人あたりの排出量(t/人)
1	①	大分県	22.2
2	⑥	静岡県	20.9
3	②	岡山県	18.4
4	③	山口県	18.4
5	④	広島県	14.1
⋮			
10	⑧	三重県	11.4
⋮			
19	⑬	愛知県	8.0
⋮			
46	⑳	岐阜県	3.7
47	㉑	福井県	3.1

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む(百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました)」

2023年5月11日